

CIVIC *TYPE***R**

HONDA
The Power of Dreams



勝利は一瞬。 挑戦は永遠。

四輪への進出から間もない1964年、Hondaは世界最高峰のF1™に挑み、翌1965年のメキシコグランプリで初優勝を果たす。
挑戦の原点となるF1マシンがまとっていたのはアイボリーホワイトのボディーカラーと真っ赤なエンブレム、通称「赤バッジ」だった。

Hondaのレーシングテクノロジーを注ぎ込み、速さと喜びを研ぎ澄ませた唯一無二の称号、TYPE R。専用色チャンピオンシップホワイトと真紅のHondaエンブレムには、レースへの挑戦の歴史と、究極のチャレンジングスピリットが込められている。

NSXから誕生し、INTEGRA、CIVICへとフィールドを広げてきたTYPE Rは、「ピュアスポーツカーは乗り手を選ぶ」という固定観念を覆し、圧倒的な速さとグランドツアラー性能を兼ね備える異次元の存在へと進化を遂げた。

TYPE Rとは、永遠の挑戦である。

挑戦の魂こそがTYPE Rの証。刹那の栄光など関係ない。己を超え、理想のスポーツカーを突き詰めるため、常識をも打ち破る。

今この瞬間、究極を追い求める。







乗る人が夢中になる、
圧倒的なドライビングプレジャーを。

TYPE Rに初めて乗った人が満面の笑顔を浮かべながら降りてくるシーンをよく目にする。桁外れの速さだけではない、いちど味わったらやみつきになる痛快さに思わず笑みがこぼれてしまうからだ。すべての性能が操る意思のために設計され、繊細にドライバーに呼応する。

大切なのは、ドライバーとクルマのキャッチボールだ。アクセルワークに対して、即座にTYPE Rの駆動力が呼応するよう、全域で緻密にチューニングされている。踏み始めから瞬時にトルクが立ち上がり、踏み込むとリアに加速し、アクセルを戻すとただちに減速を開始する。アクセル操作だけで連続コーナーを抜けるシーンなど、針の穴に糸を通すような絶妙なコントロール性を体感できる。

そして、卓越したハンドリングがドライバーを夢中にさせる。ステアリングの切り始めからクルマが素直に向きを変えるようなCIVICの進化をベースに、TYPE R専用でサスペンションやステアリングの支持パーツを高剛性化。さらに、アダプティブ・ダンパー・システムのハンドリング制御に路面情報も付与することで、荒れた路面でも比類なき人車一体モーションを実現している。

究極のハンドリングを突き詰めるために、ステアリングトーションバーは先代TYPE Rの1.6倍となるねじり剛性を実現。操舵にタイヤ切れ角がダイレクトに追従する、路面を驚づかみにするかのようなステアリングフィールを獲得している。

格別な走行体験に陶酔し、のめり込む、満ち足りた時間がオーナーを待っている。



CIVIC TYPE R
WEBサイトはこちら

FF最速を志すにふさわしい、究極のシャシーを創造する。

歴代TYPE Rに代々受け継がれてきたスポーツシャシーは、FF車の常識を塗りかえてきた。
ハイパワーエンジンとともにFF世界最速へと踏み出した軽量・高剛性プラットフォームを細部にわたり磨き上げ、
アウトバーンやニュルブルクリンクといった高速・高負荷の厳しい環境での走行テストを重ねた。
徹底的に鍛え上げた究極のFFスポーツカーが、異次元の速さを進化させる。



1. SUSPENSION：ハイパワーFF車に強靱な足まわりを。

フロントには、転舵軸(キングピン)と路面からの入力軸(ストラット)の2軸をもつデュアルアクシス・ストラットサスペンションを採用。
トルクステアを大幅に低減し、キレのある正確なハンドリングを実現する。
また、ミリ単位のサジジオメトリ適正化と、新設計した各部品により、キャンバー剛性は先代比116%を実現。
リアには複数のアームをもつマルチリンク式を採用し、圧倒的なスタビリティを確保。

2. BRAKES：サーキットで安定したブレーキフィールを実現。

超高速からの急減速でも強大なストッピングパワーを発揮するために、ブレーキシステムはフロントにはBrembo社製モノブロックアルミ対向4ポットキャリパー+φ350mm大径2ピースディスクを搭載。
高いコントロール性を目指し、マスターパワー特性も見直した。
また、フロントフェイスに設けた開口部から冷却風を効率よく取り込み、新設計の導風板との組み合わせにより、サーキット走行時のブレーキ温度上昇を大幅に低減。

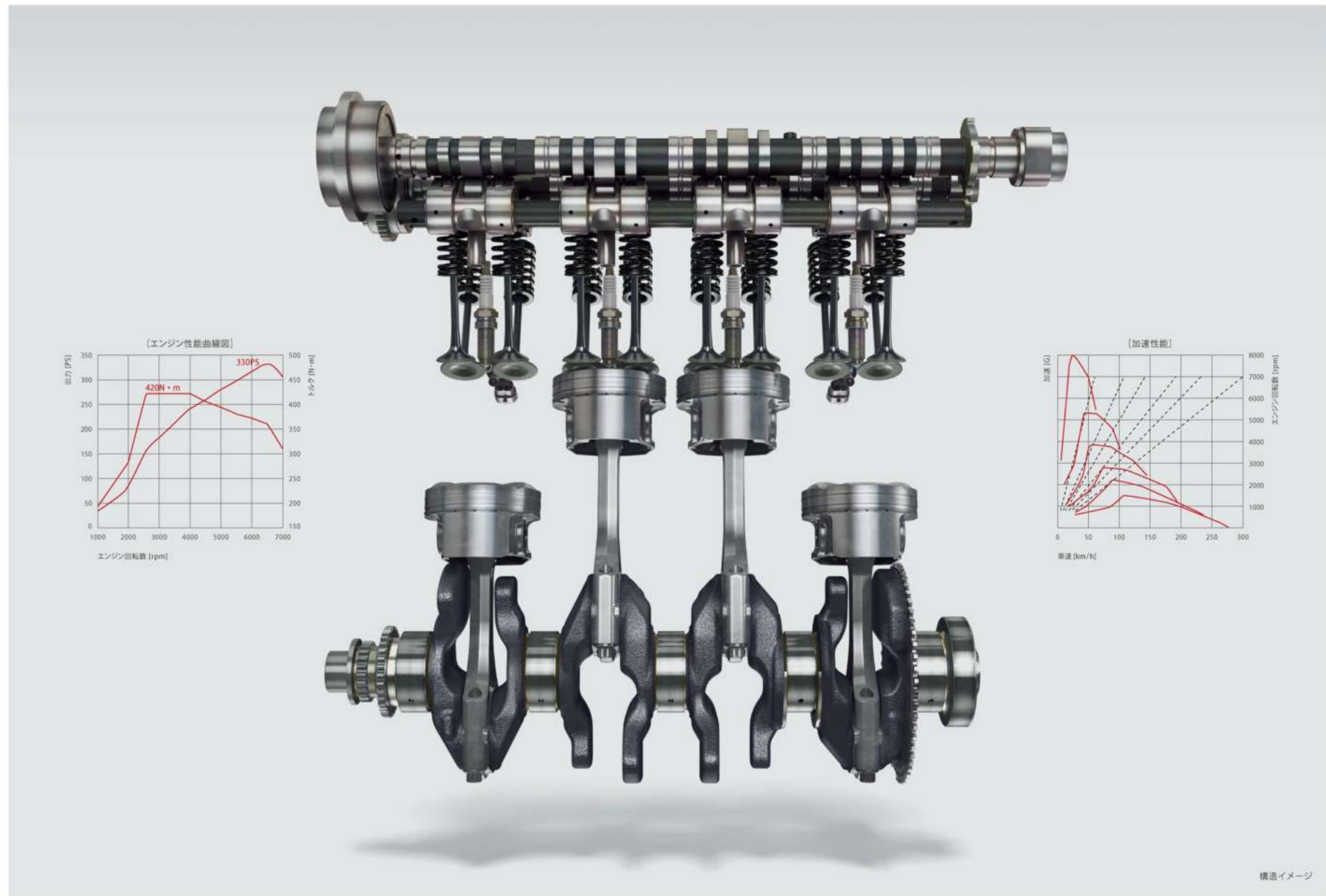
3. WHEELS：リバースリム構造が卓越したフットワークを生む。

リムのイン側とアウト側の形状を反転させたリバースリム構造のアルミホイールを採用。
これによりイン側の歪みを低減でき、タイヤ内側の接地圧が安定するため、ワイドタイヤの性能を余すことなく使い切ることが可能となる。先代のLimited Editionで培った軽量・高剛性デザインを応用し、専用スピニング製法により一体成形。鋳造ホイール4本の重量を先代ベースモデル比で約3kg軽量化している。
高性能かつデザイン性の高い専用19インチホイールが、絶妙なフットワークを生み出す。

4. TIRES：TYPE R専用チューニングタイヤが旋回の限界を高める。

究極のFFスポーツカーにふさわしいタイヤをミシュラン社と共同開発。
タイヤ幅は265mmを選択し、異なるトレッドコンパウンドを組み合わせる独自製法により、ウェット性能や摩耗性能を保持したまま、優れたドライグリップ性能を獲得。
トレッドパターンに合わせてタイヤ内部のベルト形状・構造を適正化し、高いブロック剛性を確保している。





構造イメージ

高出力・高レスポンス・高回転は、熟成の領域へ。

TYPE R専用2.0L VTEC TURBOエンジンは、最高出力243kW[330PS]、最大トルク420N・m[42.8kgf・m]へと進化し、初代NSXタイプRを凌駕するパワーウェイトレシオ4.33*を達成。

アクセルを踏んだ瞬間、シートに背中が押しつけられるほどの強烈な加速Gが立ち上がり、高回転まで力強く伸びる。

* kg/PSで示され、小さいほど加速性能が高い。NSXタイプR(1992年モデル)は4.39。

1. VTEC+VTC：Hondaならではの高回転エンジンを。

排気側にVTEC(可変バルブタイミング・リフト機構)を、吸排気双方にVTC(連続可変バルブタイミング・コントロール機構)を採用し、低回転から全開領域までをカバー。さらにターボ制御の自由度が高い電動ウェイトゲートなどを投入し、高回転エンジンならではの胸のすく駆け上がりを実現している。

2. TURBOCHARGER：新開発ターボが高回転まで突き抜ける。

新開発モノスクロール・ターボチャージャーは、翼の外径・枚数・形状に至るまで新設計し、優れたターボ効率と低慣性を達成。吸排気の流量アップやECU制御の緻密化など細部にわたる進化と相まって、高出力・高レスポンスを実現している。

3. COOLING：エンジンを効率よく冷却するエアフローレイアウト。

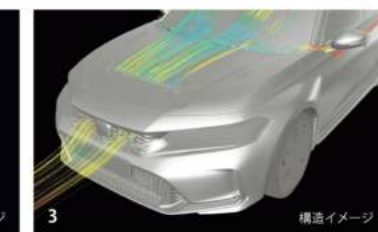
エンジン性能を限界まで引き出すため、冷却技術にも注力。大開口グリルから取り込んだ空気を、大径・高性能ラジエターに送り込み、排熱をフロントフード上のベントから逃がすエアフローレイアウトを採用。

4. EXHAUST SOUND：湧き上がる音色がドライバーを高揚させる。

スポーツカーの価値は、サウンドを抜きにしては語れない。ストレート構造の大流量排気システムにより、迫力ある排気原音を獲得。また、サイレンサー中央にアクティブ・エキゾーストバルブ機構を搭載し、回転数に応じてバルブ開度をコントロールする。さらに、アクティブサウンドコントロールが室内音をブーストし、アクセルを踏むほどに湧き上がる官能的なエキゾーストサウンドを実現。



構造イメージ



構造イメージ



構造イメージ



並み外れたダウンフォース性能の、その先へ。

FF最速の追求には、CD(空気抵抗)値の低減が欠かせない。
ゆるぎない高速安定性を得るには、確固としたダウンフォースも必要となる。
先代TYPE RをしのぐCD値とダウンフォースの実現を目指して、
風洞実験とCFD(数値流体力学)解析を繰り返し、レーシング技術を注ぎ込んだ。
機能美を追求したTYPE Rフォルムが、圧倒的な速さとスタビリティを發揮する。

TYPE R専用リアスポイラー(グロスブラック)+アルミダイキャストステー

スポイラーの形状と角度を徹底的に検証し、空力性能を追求。
軽量のアルミダイキャスト製のステーを採用し、
洗練されたデザインで強大なダウンフォースと低ドラッグを実現している。

1. フロントフェンダーアウトレット

フロントフェンダー内に滞留する空気をアウトレットからサイドに流し、圧力を軽減する。

2. グロスブラック・フロントスポイラー

フロントスポイラー左右に設けたガーニッシュが空気の流れをコントロールし、
ダウンフォースを発生させる。また、ロアーグリルメッシュ奥に設けた中央への導風形状が
空気の流入量をコントロールし、CD値の低減に寄与する。

3. グロスブラック・リアディフューザー

リアタイヤ直後まで深く潜り込ませたボトム形状により負圧を発生させ、大きな
ダウンフォースを得る。安定性を実現するフィンの形状やレイアウト、ホイールハウスの
圧力を下げるリアタイヤ後方の形状など、細部まで入念に設計している。

4. グロスブラック・サイドシルガーニッシュ

サイドシル後端に張り出し面を設け、リアタイヤ前の整流効果を獲得。





クルマを駆る至福の時間がここにある。

ドアを開けると目に飛び込む、選ばれた者だけのレッドカーペットと真紅のHonda TYPE Rシート。鼓動を高まらせながら乗り込むと、鮮烈なレッドと対をなすブラック基調の空間が集中力を研ぎ澄ませる。シビアリティーの高い走行シーンにフォーカスされたコックピットでアクセルを踏み、変速し、ステアリングを切る。走りの本質と官能が溶け合う、至福の時がここにある。

1. TRANSMISSION：操る喜びを高めるシフトフィール。

高剛性6速マニュアルトランスミッションが、シフトチェンジが小気味よく決まるダイレクトな操作感を実現する。アルミ削り出しのシフトノブは握りやすいティアドロップ形。さらにTYPE R専用のシフトリンク機構により、4速から5速といった斜め操作時も滑らかなシフトフィールを追求。操る喜びに磨きをかけている。変速操作に合わせて、まるでヒール&トゥを決めたかのようにエンジン回転数を自動でシンクロさせるレブマッチシステムも搭載。

2. METER DISPLAY：+Rを押しした瞬間、覚醒する。

+Rモードで切り替わる専用のメーター表示では、シビアなサーキット走行下でドライバーが瞬時に必要な情報を認知するために、各コンポーネントがレイアウトされている。メーターアッパーには中央にギアポジションを配置し、専用タコメーターとデジタルスピードメーターを設定。メーターローアにはデータロガー Honda LogRと連動した車両・環境情報がセットされ、好みに応じてカスタマイズ表示が可能。最上部には回転数に応じて点灯するLEDレブインジケーターをしつらえた。

3. Honda TYPE R SEAT：強固なコックピットが走りを支える。

鮮烈なレッドのHonda TYPE Rシートが、サーキットでの限界走行からロングドライブまで、ドライバーの操縦姿勢を保持する。旋回時などに背中・骨盤・下肢を効果的にホールドする理想的な強化フレーム/高硬度パッドの性能を、実走検証を繰り返して導き出した。無駄を削ぎ落とした多面体形状のシートは、身体が密着するエリアの通気性にも配慮されている。

4. STEERING WHEEL：優れたグリップ感が速さに直結する。

レーシンググローブ使用時にも優れたグリップ感を発揮するアルカンターラ®を採用したTYPE R専用ステアリングホイール。赤ステッチを施し、中央には真紅のエンブレムが輝く。





何も捨てず、速さと喜びを極める。
それがTYPE Rの到達点。

TYPE Rが究極である理由は、突出した速さや操る喜びだけではない。
同乗者とドライブを楽しむ快適性、
高速道路や街の移動をサポートする安全性能、
優れた居住性に至るまで。
TYPE Rは、何もあきらめない。
他の追随を許さない究極の開発思想が、TYPE Rのフィールドを広げ、
ドライバーそれぞれが自由に味わえる唯一無二のスポーツカー体験を生む。





Honda LogR TYPE Rと対話する、新しいスポーツカー体験。

走りを楽しみ尽くしたいオーナーのために、TYPE R専用データロガー Honda LogRが車載ナビにアプリとして標準装備される。走行データの保存に加え、走行データを自動解析しHonda独自のロジックでスコア化する革新的な機能を搭載し、ドライビングスキル向上をサポートする。日常シーンから加速や旋回などを自動的に採点する「オートスコア」を使うと、滑らかでメリハリのある運転を目指すことができる。

また、よりサーキット走行の解析に適した「データログ」をアプリに内蔵。国内13か所のJAF/FIA公認サーキットのスタート位置があらかじめ収録され、自動でラップタイム計測ができる。さらに、13か所のサーキットでスピードリミッターを解除する機能も搭載しており、GPS測位情報からサーキット範囲を特定し、安全かつ確実に時速180km制限を解除できる。

また、3DモーションやGメーター、摩擦円のリアルタイム表示とともに車両・環境情報をカスタマイズ表示する「パフォーマンスモニター」も実装。スマートフォンアプリでも、Honda LogRの収録情報を再生できる。車載映像を撮影しておく、走行中の車両データを合成した動画を作成可能だ。



CIVIC TYPE R
WEBサイトはこちら



タイヤ摩擦円/3Dモーション



Gメーター/走行情報



デジタル計器表示



スコアリング



Honda LogR スマートフォンアプリ

DRIVE MODE

あらゆる道で操る喜びを堪能するために。

サーキットから公道まで、駆けるシーンや意気込みに応じて、モードスイッチひとつで各システムのセッティングを一齐に変更。3つのモードに加えて、すべてのパラメーターを好みに応じてカスタマイズできる[INDIVIDUAL]を搭載し、エンジンを始動した瞬間から自分だけの走りを楽しめる。



+R

タイムを競うサーキットで極限の走りに集中できるモード。レスポンスな加速と迫力のサウンド、そして卓越したロードホールディング性を発揮する。+R専用のメーターディスプレイとスイッチが用意される。



SPORT

ワインディングロードから街中まで心昂る走りを堪能できるモード。高鳴るスポーツエンジンと迅速なレブマッチシステムがドライバーの心を加速させる。赤のアナログメーターと伝統の黄色い指針を採用。



COMFORT

街中やロングドライブなどの日常シーンでスポーティーな走りを満喫できるモード。一緒にドライブを楽しむ同乗者にも快適な乗り心地を実現している。白のアナログメーターと黄色い指針を採用。



INDIVIDUAL

6つのパラメーター（エンジン/ステアリング/サスペンション/エンジンサウンド/レブマッチシステム/メーター）を自分好みにカスタマイズできるモード。設定はエンジン再始動時も保持される。

■運転状況などによりモード変更できない場合があります。



■仕様ならびにサービスは予告なく変更・終了することがありますので、あらかじめご了承ください。

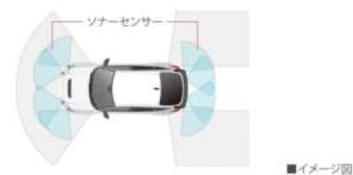


広い水平画角のフロントワイドビューカメラと前後8つのソナーセンサー、レーダーで、万が一に備えを。

フロントワイドビューカメラで検知
広い水平画角のフロントワイドビューカメラにより、側方に対する検知能力がアップ。



前方・後方のソナーセンサーで検知
壁などに衝突するおそれがある場合にブレーキ操作を支援する近距離衝突軽減ブレーキ。ガラスも検知。



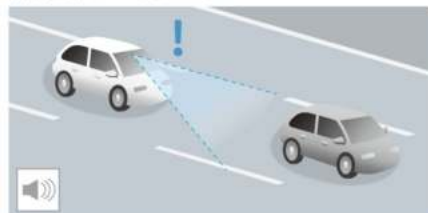
レーダーで検知
リアバンパー内側に設置したレーダーにより、後側方に接近する車両を検知。



■Honda SENSINGは、ドライバーの運転支援機能のため、各機能の能力(認識能力・制御能力)には限界があります。各機能の能力を過信せず、つねに周囲の状況に気をつけ、安全運転をお願いします。車両をご使用になる前に必ず取扱説明書をお読みください。各システムは、いずれも道路状況、天候状況、車両状態等によっては作動しない場合や十分に性能を発揮できない場合があります。■衝突軽減ブレーキ(CMBS)は、約5km/h以上で走行中に自車との速度差が約5km/h以上ある車両や歩行者、人が乗車して移動する自転車に対して衝突するおそれがあるとシステムが判断したときに作動し、停止または減速することにより衝突回避や衝突被害の軽減を支援します。■先行車発進お知らせ機能は、先行車との車間距離が約10m以内で、先行車の発進を検知しても自車が停止し続けたときに作動します。■歩行者事故低減ステアリングは、約10km/h～約40km/hで走行中、システムが歩行者側への車線逸脱と歩行者との衝突を予測したときに、ステアリング操作による回避を支援します。運転者のステアリング操作に代わるものではありません。運転者が加速やブレーキ操作、急なステアリング操作を行っているとき、また、ウインカーを作動させている場合には作動しません。■路外逸脱抑制機能は、約30km/h以上で走行中、システムが路外への逸脱を予測したときに作動します。運転者のステアリング操作に代わるものではありません。運転者が加速やブレーキ操作、急なステアリング操作を行っているとき、また、ウインカーを作動させている場合には作動しません。■標識認識機能は、最高速度、はみ出し通行禁止、一時停止、車両進入禁止の道路標識を認識し、マルチインフォメーション・ディスプレイに表示します。一時停止、車両進入禁止は約60km/h以下で走行中に作動します。■オートハイビームは、約30km/h以上で走行中に作動します。

街なかで

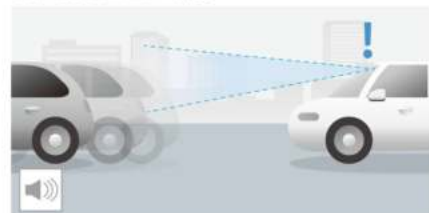
ぶつからないために 衝突軽減ブレーキ(CMBS)



車両や歩行者、人が乗車して移動する自転車を検知し、衝突の危険がある場合に音とマルチインフォメーション・ディスプレイの表示で警告します。衝突の危険が継続しているとシステムが判断した時は、強いブレーキをかけて、停止または減速することにより衝突回避・被害軽減を支援します。

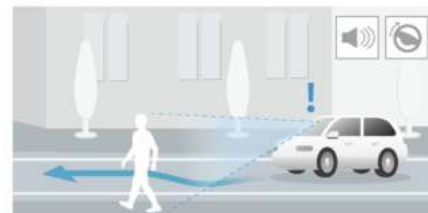
CMBS: Collision Mitigation Braking System

発進をお知らせ 先行車発進お知らせ機能



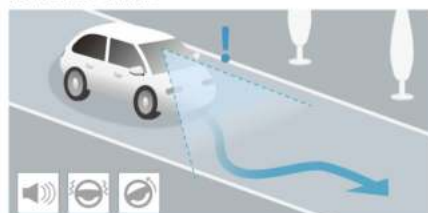
先行車が発進したことを、音とマルチインフォメーション・ディスプレイの表示でお知らせします。

歩行者に配慮 歩行者事故低減ステアリング



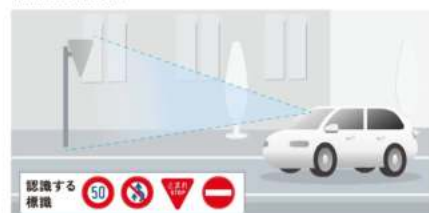
走行中に車線を外れ、路側帯の歩行者と衝突しそうな際、音とマルチインフォメーション・ディスプレイの表示で警告します。ステアリングも制御して回避操作を支援します。

はみ出さないために 路外逸脱抑制機能



車線や草、砂利などの道路境界をはみ出しそうな際や対向車への接近時に車線をはみ出しそうな際、逸脱を防ぐようにステアリングを制御して回避操作を支援するとともに、マルチインフォメーション・ディスプレイとステアリング振動、および音で警告します。

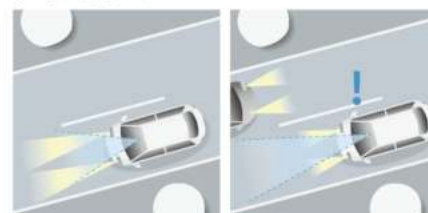
みのがさないために 標識認識機能



走行中に道路標識を認識してマルチインフォメーション・ディスプレイに表示します。速度を超過した場合はマルチインフォメーション・ディスプレイの表示を一定時間減速させ安全運転を支援します。

夜間に

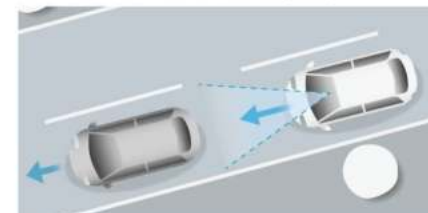
良好な視界確保のために オートハイビーム



先行車や、対向車を検知してハイ/ロービームを自動で切り替えます。良好な視界の確保を支援するとともに、切り替え操作の頻度も低減します。

高速道路で

適切な車間距離を保つために アダプティブクルーズコントロール(ACC)



先行車がない場合は設定した車速を自動で維持し、先行車がいる場合は自動で加減速し、適切な車間距離を保つよう支援します。

ぶつからないために 車線維持支援システム(LKAS)



高速道路や自動車専用道路を走行中、車線の中央に沿って走行できるようにステアリング操作をアシストします。車線を外れそうな際には、マルチインフォメーション・ディスプレイの表示とステアリング振動、および音で警告し注意を喚起します。

LKAS: Lane Keeping Assist System

斜め後ろのクルマをお知らせ ブラインドスポットインフォメーション



走行中、斜め後ろにクルマの存在を検知すると、その方向のドアミラー鏡面上にマークを表示しお知らせ。さらにその方向にウインカーを操作すると、マークの点滅と警報音でドライバーに注意を促します。

駐車場で

ぶつからないために 近距離衝突軽減ブレーキ



壁などの障害物の見落としにより衝突するおそれがある際、運転者のブレーキ操作を支援し、停止または減速することにより衝突回避・被害軽減を支援します。

駐車も出庫もスムーズに パーキングセンサーシステム



クルマの前/後、斜め前/斜め後ろからの障害物の接近を、音と表示でお知らせ。細い路地を走る時や駐車時などでも安心です。

左右から近づくクルマをお知らせ 後退出庫サポート



バックで出庫する際、左右から近づいてくる車両を検知。警報音とナビ画面の矢印表示で、注意を促します。

CIVIC TYPE RはサポカーS(ワイド)に該当しています。

セーフティ・サポートカー(略称:サポカー)は、政府が交通事故防止対策の一環として普及啓発しているものです。自動(衝突軽減)ブレーキなどの安全運転を支援する装置などを搭載し、ドライバーの安全運転を支援します。該当タイプや詳細についてはWEBサイトをご確認ください。



詳しくは、WEBサイトへ

ハイビームとロービームの自動切り替え制御には状況により限界があります。必要に応じて手動で切り替え操作を行ってください。■アダプティブクルーズコントロール(ACC)は、約30km/h以上で走行中に作動します。先行車に接近しすぎる場合には、ブレーキペダルを踏むなどして適切な車間距離を保ってください。高速道路や自動車専用道路を運転するときに使用してください。■車線維持支援システム(LKAS)は、約65km/h以上で走行中に作動します。運転者のステアリング操作に代わるものではありません。運転者がステアリングから手を放した状態や、運転者が意図的に車線を越えるようなステアリング操作をしているとき、また、ウインカーを作動させている場合には作動しません。高速道路や自動車専用道路を運転するときに使用してください。■ブラインドスポットインフォメーションは隣接する車線後方の検知エリア(見えにくい位置)に他の車両がいることを知らせるシステムです。二輪車等が検知範囲に入ったときなど、条件によっては正しく作動しない場合があります。車線変更や合流時には必ず目視やミラーなどで周囲の安全を直接確認して運転してください。■近距離衝突軽減ブレーキは、約2km/h～約10km/hで走行中、壁などの障害物に衝突するおそれがあるとシステムが判断したときに、ブレーキを制御し停止または減速することにより衝突回避や衝突被害の軽減を支援します。■パーキングセンサーシステムは、車両や周囲の状況によりシステムが正しく作動しない場合があります。システム使用時も直接目視で周囲の安全確認を行いながら運転してください。■後退出庫サポートは出庫時の安全確認をサポートするためのものであり、衝突を防止するためのシステムではありません。後退時は、必ず目視やミラーなどで後方および周囲の安全を直接確認して運転してください。天候、積載荷重などの影響を受け、システムが正しく作動しない場合があります。



Honda CONNECT あたらしい場所へ、あたらしい地図で。

新世代コネクテッド技術「Honda CONNECT」。通信によって、自動であたらしい地図へ更新。
初めて訪れる場所へも、あんしんのルート案内を実現。
さらに、ALSOK駆けつけサービスに対応し、緊急時にオペレーターのサポートを受けることも可能。



「Honda CONNECT」
について詳しくはこちら



Honda ALSOK駆けつけサービス

盗難・いたずらに迅速対処



世界にひとつしかないあなただけのTYPE Rを盗難・いたずらから守るために。駐車中のクルマが異常を感知すると、あなたのスマートフォンに通知。クルマから離れた場所にいる時は、緊急サポートセンターを通じて、ALSOKのガードマンを現場に急行させることが可能。あなたの代わりに盗難やいたずらに適切かつ迅速に対処し、クルマの安全を守る。



自動地図更新サービス^{*1}

あたらしい地図に自動で更新

通信により地図を“自動”で更新。目的地までの最適なルートを案内。



Honda デジタルキー^{*2 *3}

スマホがクルマのキーになる

いつものスマートフォンでドアロック解除やエンジン始動が可能。



緊急サポートセンター

ボタン一つでオペレーターが対応

万一の時、クルマと緊急サポートセンターがボタン一つでつながる。さらに、エアバッグが展開した時は自動で通報。クルマの状況がオペレーターに共有されるので、緊急・トラブル時には的確で迅速なサポートを提供。



Honda リモート操作^{*3}

スマホでクルマの操作や確認ができる

離れた場所からでもスマートフォンでクルマを操作することが可能。

■クルマを探す
広い駐車場で自分のクルマが見つからない。そんな時はスマートフォンで駐車位置を確認。さらにハザードランプとブザーでクルマの位置を通知。

■し忘れ通知・操作
ドアロックのし忘れなどをスマートフォンに通知し、ロック操作ができるなど、お客様の「うっかり」を「しっかり」サポート。



車内Wi-Fi

クルマをWi-Fiスポットに

スマートフォン、タブレット、ゲーム機等をクルマのWi-Fiに接続。音楽・動画・ゲームが楽しめる。もちろんパソコンでテレワークも可能。通信量は車内のディスプレイで必要な分だけ購入可能。

「Honda CONNECT」をお使いいただくために

「Honda Total Care」へのご加入、および「Honda Total Care プレミアム」へお申し込みにご利用いただけます。

Honda Total Care プレミアム

つながる技術であなただけの毎日が、もっと安心・快適に。
万が一やお困りの時はもちろん、毎日の運転やクルマに乗っていない時でも、サポートします。
<https://www.honda.co.jp/hondatotalcare/premium/>



新世代コネクテッド技術により一人ひとりの走行データを把握して、安全運転レポートをお届け。さらに運転スコアに応じて保険料の割引も。「安心・安全・お得感」をお客様へ。そんな新しい時代の保険です。
■適用には各種条件がございます。詳しくは販売会社にお問い合わせください。

*1 「Honda Total Care プレミアム」基本パック解約時は、工場出荷時の地図に戻ります。 *2 本サービス利用中であっても、インターネット通信圏外やスマートフォンの充電残量がなくなった場合などは機能利用ができなくなる場合がありますので、Hondaスマートキーを常に携帯ください。

*3 「Honda リモート操作アプリ」のダウンロードが別途必要となります。 ■サービスのご利用には条件がございます。詳しくは販売会社にお問い合わせください。

DESIGN & COLOR



走りの本質と官能を磨いた、
究極のTYPE Rプロポーション。

エアロダイナミクスとロー&ワイドフォルムを融合し、
極限まで純度を高めたTYPE Rプロポーションが完成した。
色気が漂う、力強く隆起したワイドフェンダー。
低い重心で路面をつかむようなバンパーデザイン。
機能美を主張する、ブラックの空力パーツ。
稀有なパフォーマンスを織り込みながら、
質の高いスポーツカーとしての佇まいが表現されている。
ボディカラーは、TYPE Rのみがまとうことを許された
魂のチャンピオンシップホワイトを軸として、
走りに共鳴する5色を厳選。



■ボディカラーの設定につきましては、予告なく変更・廃止される場合がございます。最新のボディカラーの設定については販売会社またはHondaホームページでご確認ください。

★印のボディカラーは38,500円(消費税10%抜き 35,000円)高となります。

EQUIPMENT



1. シリアルナンバー入りアルミ製エンブレム

偏光ガンメタリック塗装のインストルメントパネル部に配されたエンブレムには、世界にひとつだけのナンバーが刻印される。

2. アルミ製センターコンソールパネル

シフトノブと同じアルミを使用したパネルに幾何学模様を施し、硬質感と奥行きのある華やかさを演出。

3. Honda CONNECTディスプレイ

9インチワイドディスプレイに多彩な機能を凝縮した、操作しやすいナビゲーション。TYPE R専用データロガー Honda LogRを標準搭載。

4. 左右独立温度コントロール式フルオート・エアコンディショナー

運転席/助手席、それぞれで温度設定が可能。ローレット加飾を施したダイヤルなど、デザイン性も追求。



Honda Cars よりお届けします。

本田技研工業株式会社 〒107-8556 東京都港区南青山2丁目1番1号

お問い合わせ、ご相談はお近くの販売会社、または下記のフリーダイヤルまで。

●車両について Honda お客様相談センター 全国共通フリーダイヤル 0120-112010(受付時間:9時~12時 13時~17時)

●純正用品(ディーラーオプション)について ホンダアクセス お客様相談室 全国共通フリーダイヤル 0120-663521(受付時間:9時~12時 13時~17時 但し、土日・祝日・ホンダアクセス指定休日は除く)
後席もシートベルト、チャイルドシートも忘れずに。

Honda
ホームページは
こちら ▶



2022.11

このカタログの内容は
2022年11月現在のものです。

CIVIC TYPE R カタログ
ZBA34CE229A00
2209①